

道路の整備が進んでいます

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介しします



新相川橋

7月10日、東日本大震災で流失した北上町十三浜字相川地区の「新相川橋」が再建され、開通式が行われました。

当日は、北上小学校児童による鼓笛隊パレードも行われ、沿道では地域の方が幹線道路の開通を祝いました。

国道398号の交通利便性が向上したことで、北上地域の復旧復興に弾みがつきました。



新北上大橋



昨年6月10日、「新北上大橋」の車両部の復旧工事が完了し開通式が行われました。また、同年10月には歩道部の工事も完了しました。



▲昨年9月に開催された「ツール・ド・東北2016」で疾走する参加者

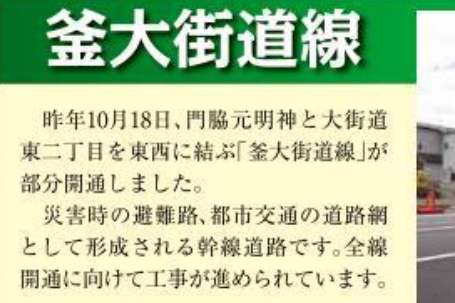
南光湊線



1月10日、防災・減災機能を有する高盛土道路である「南光湊線」の西側区間が開通し、門脇地区の東西が太い道路で結ばれました。

現在は東側の工事が進められています。

釜大街道線



昨年10月18日、門脇元明神と大街道東二丁目を東西に結ぶ「釜大街道線」が部分開通しました。

災害時の避難路、都市交通の道路網として形成される幹線道路です。全線開通に向けて工事が進められています。



(仮称) 鎮守大橋



橋が架かるイメージ

「(仮称)鎮守大橋」は、新門脇地区と湊地区を結ぶ旧北上川に架かる全長536メートルの橋で、災害時には緊急輸送道路となります。

網地島ラインの発着場と隣接しているため、航路を利用する乗客に配慮しながら工事が進められています。

半島沿岸部防災集団移転団地の完成引き渡しが進んでいます

